

令和5年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤とする、知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健康で人間力豊かな児童の育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・よく考える子ども : 規範意識をもち、自ら考え、**進んで学べる子ども**
- ・思いやりのある子ども : 自他のよさに気付き、共に**伸びようとする子ども**
- ・体力のある子ども : 心身ともに健康で**気力や体力に満ちた子ども**
- ・はたらく子ども : 目標の実現に向けて**粘り強く取り組める子ども**

2 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、保護者・地域住民と一体となって連携・協働し、活気と創意に満ちた教育活動の展開を通して、目指す学校像に迫る。

《目指す学校像》

- 互いに認め合い自己発揮できる「活気あふれる学校」
- 児童や保護者にとって「安心・安全な学校」
- 人間性豊かな教職員が互いに「学び合い磨き合う学校」
- 地域住民と連携・協働する「地域とともにある学校」

3 学校経営の方針

(1) 互いに認め合い自己発揮できる「活気あふれる学校」

- ・互いの違いやよさを認め合うきめ細かな支援を行い、すべての児童にとって居がい感のもてる温かい雰囲気の学級経営を推進する。
- ・一人一人の内面理解に努め、よさを引き出せるよう一人一人を大切に作る。
- ・道徳科を核にした心の教育や児童への認め励ます教育により、思いやり、自己肯定感・自己有用感を高める。
- ・「宇都宮モデル」を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を展開し、学級を学びに向かう集団に成長させていく。

(2) 児童や保護者にとって「安心・安全な学校」

- ・児童が心身共に安心・安全で、潤いのある教室環境や整備された学校施設の中で生活できるよう、温かい人間関係の醸成や学びを高める環境の整備・活用、校舎等の点検・整備に努める。
- ・児童のよさや学校・学級情報を積極的に発信したり、きめ細かで誠意のある対応を心掛けたりして、保護者との連携を密にし、共通理解を図る。
- ・家庭や地域の声を収集し、問題点を速やかに工夫・改善するなど誠意ある対応をする。
- ・教科体育の充実、外遊びの奨励等を通して体力の増進を図るとともに、健康を維持・管理する能力を育成する。
- ・PTAによる見守り活動と連携を図ったり、交通安全教室、避難訓練などを実施したりして、児童自らが危険を予測し回避する行動力を身に付ける指導を強化する。

(3) 人間性豊かな教職員が互いに「学び合い磨き合う学校」

- ・創意ある提案や意見交換を大切にしながら、教職員の資質・能力の向上を目指すとともに、学校全体の組織力向上に努め、学校経営への参画意識を高める。
- ・協働遂行力・授業力・学級経営力・特別支援教育力の4つの教師力を身に付けるため、教職員の資質・能力向上策を推進する。
- ・県の「学校における働き方改革推進プラン」及び市の「児童と向き合う時間の充実のた

めのアクションプラン」に基づき、「勤務時間を意識した働き方」「校内業務の効率化」「ICTの効果的な活用」の推進を図る。

(4) 地域住民と連携・協働する「地域とともにある学校」

- ・地域学校園や児童会の取組，及び家庭・地域との連携を生かした「あいさつ運動」を通して，規範意識を高める取組を推進する。
- ・地域の教育資源と地域人材のさらなる開発と活用の工夫を図る。
- ・学校支援ボランティアや下校ボランティアなど，高齢者をはじめ，学校を支えてくれる方々への感謝の心を育むよう努める。
- ・学校日よりやHP等による情報発信を積極的に推進する。

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

個と集団を育てる教育の実践，組織力・同僚性による効率的な職務の遂行，家庭・地域と一体となった取組の推進などによる，活気にあふれ信頼される学校づくりを推進する。

- ・「認めて伸ばす教育」の実践 ・あいさつの響く学校づくりの推進
- ・わかる授業と居心地のよい温かな学級集団づくりの推進 ・読書活動の推進
- ・勤務時間を意識した効率的な業務の遂行 ・子どもの姿を伝える情報発信

(2) 学習指導

「自ら学び，互いに高め合う児童の育成」

～児童の「わかる！」「考える！」「伝える！」を高める授業の工夫～

- ・望ましい学習態度，習慣の定着 ・「学力の基礎・基本」の確実な定着
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・読解力・表現力の育成
- ・読書活動の推進 ・家庭学習の習慣化 ・1人1台端末の活用

(3) 児童生徒指導

「自他への思いやりの心を持ち，豊かな人間関係を築くことができる児童の育成」

～いじめ根絶に向けた取組の充実および個に応じた継続的な指導を通して～

- ・礼儀を意識したあいさつの定着，規範意識の醸成
- ・自己肯定感，自己有用感，自己指導能力を育む学級経営の工夫
- ・主体性や思いやりを育むための縦割り班活動及び異学年交流の充実
- ・奉仕の心を持ち，自ら進んで仕事に取り組む態度の育成

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

「自らの健康に関心を持ち，望ましい生活習慣を身に付けようとする児童の育成

～生活習慣の改善を目指した取組を中心として～

- ・健康の保持増進 ・運動の日常化 ・食に関する指導の充実
- ・判断力・行動力を育てる安全教育 ・家庭・地域との連携

5 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・相手とコミュニケーションを図り，自分でよく考えることができる力
- ・自他のよさに気付き，思いやりの心をもって接することができる実践力
- ・地域や集団の一員として，きまりを守り，場に応じた対応ができる判断力

(2) 具体的取組

- ・読む，書く活動の積極的な導入，伝え合う場の工夫による学びを楽しむ子どもの育成
- ・縦割り班活動・異学年による交流活動の推進（縦割り清掃，わくわくタイム）
- ・立腰教育を取り入れた気力・体力を育む教育活動の充実
- ・地域学校園等との交流を通じた児童主体のあいさつ運動の推進
- ・読書活動の推進等を通じた読解力の育成